

令和二年十二月号

遮断器

佐怒賀正美

鉄塔へ吹き飛ばされし案山子翁
天へ湧くメタセコイアの秋光は
七五三禰宜の仕草を真似っこす
頭ごなしに叱るペンギン小春風
小春日や遮断器まつすぐに戻る

令和二年十一月号

団栗

佐怒賀正美

出ては隠れ月の兎に新たな仔
天高し禁断の都市病み抜けず
団栗になつて晴夜を燥ぎ合ふ
都市伝説虫の多彩な呪ひうた
極彩色脱いで台風生まれけり

令和二年十月号

悲

佐怒賀正美

疫えに無月ガリアの雄鷄みな蹴上ぐ

木槿より深海甘しメガロドン

※巨大な古代鯨。全長十八メートル

龍白くなりつつ銀河遡のぼりけり

木き蓮はちすの微醺きに払ふ宇宙塵

※木槿の異名

神は悲を粉こにし散らしぬ天の河

令和二年九月号

天の川

佐怒賀正美

酔芙蓉そこから夢のとぶや飛ぶ
をさな児の間ふに二択や秋の虹
瀑布花火面妖な世をにぎはしぬ
愛語はやふくらむ秋の頬ぶくろ
ほんたうに旅のふところ天の川

令和二年七・八月号

いんぎん

佐怒賀正美

パンデミック神経戦も梅雨に入る

梅雨晴や疫病えやみの街のいんぎんに

紫陽花を飛び出すアルレッキーノかな

吹抜けを彩ひてホログラム滝よ

リオの夜の虹や百年後は純白

令和二年六月号

迷ひ子

佐怒賀正美

迷ひ子のやうなアマビエ青葉風
パンデミック潜り抜けきて更衣
けふよりはオンライン授業柏餅
はつ夏や幼子すぐに背にまはる
ぼうたんを離れ疫禍の世に戻る

令和二年五月号

行く春

佐怒賀正美

人を地球を舐めゆく菌や暮かぬる
父の晩年続くよ蛙声のひろがりに
八重桜並木や夜間飛行の音降りぬ
ゆく春や獺の赤子のいぎたなき
いつしんに除災の舞や海市立つ

令和二年四月号

芽起し

佐怒賀正美

ふくいくと地母神の息木の芽晴
土竜より深きカフェーに春の唇
朧月ビルも生身もほそく立つ
目刺食ふ銀河鉄道降りきては
芽起しや北斎の霊鬼ぬうと現る

※北斎85歳の折の作。

令和二年三月号

初夢

佐怒賀正美

真ん中でごまめ噛みだす二歳の歯
手放し乗りでマフラーを巻き直す
初夢や鯨の尾もて振り回す
すずなすずしろ顔認証でひらく国
嫁が君獺の赤子に似てきたる

令和二年一・二月号

蚯蚓結ぶ

佐怒賀正美

追悼・中村哲さん（12月4日逝去）

きゆう いん むす

蚯蚓結ぶ急襲といふ銃撃死

※蚯蚓結ぶ……七十二候の一つ。

雲脚の触れゆく山の冬ざくら

令和小春おすまし真空管ラジオ

苔と冷ゆ石の浮彫り阿修羅像

聖夜なる返却台に骨も血も